

大田区・消防・自衛隊との合同訓練の実施結果について

1 実施概要

関東大震災から100年という契機を捉え、発生が懸念される首都直下地震等の大規模災害に的確に対応するため、第二消防方面本部消防救助機動部隊が実施する効果確認に、陸上自衛隊第1普通科連隊第1中隊と大田区総務部防災危機管理課も参加し、連携を図りながら実践的な訓練を実施した。

訓練想定は、閉鎖空間での救助活動現場、土砂災害における救助活動現場及び重機を活用した救助活動現場の3か所あり、それぞれの現場を合わせて計5名の要救助者がいるもの。(想定図は、別添えのとおり)

2 実施日時

令和5年6月27日(火) 9時から13時まで

3 実施場所

東京消防庁第二方面訓練場 京浜島一丁目1番4号

4 参加人数等

110名(大田区15名、東京消防庁60名、自衛隊35名)

5 訓練内容

(1) 大田区の役割

- ア 現地対策本部による情報収集及び消防と自衛隊への情報提供並びに活動調整
- イ 災害対策本部による現地対策本部の支援
- ウ 東京消防庁第二消防方面本部災害対策調整担当課長からの情報提供による、区内災害の把握及び対応調整

(2) 訓練の特性

- ア 日頃の災害活動訓練の成果を確認する効果確認の場に、大田区及び自衛隊が参加
- イ 消防と自衛隊が共同して同一の要救助者を救助
- ウ 災害活動訓練の場と、大田区災害対策本部が連携

(3) 検証事項

- ア 情報の整理
- イ 現地対策本部と災害対策本部の連絡要領
- ウ 強靱な災害対策本部態勢の構築
- エ 災害現場での大田区の調整体制

6 記録写真及び実施結果



現地対策本部員による情報提供

現地対策本部員が、関係者より聴取した要救助者情報を、消防救助機動部隊に提供し、活動を調整。



災害対策本部による現地対策本部支援

現地対策本部から送られてきた情報や画像を基に、災害対策本部で収集できる情報を早期に集め、現地対策本部に情報を提供。



他機関との連携状況

現場を確認してきた、東京消防庁第二消防方面本部災害対策調整担当課長からの情報提供により、救助活動現場の状況確認及び区内災害の把握を実施。



区長による災害対策本部確認

全体活動のほか、令和3年7月より導入している大田区総合防災情報システムや、災害対策スマートフォンの災害時の活用状況等も確認。

8 その他

YouTube 大田区チャンネルにて公開予定

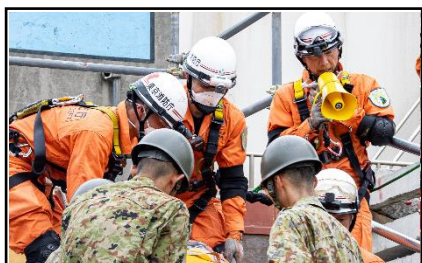
別添え

想定図等



※ 災害対策本部は車庫内、現地対策本部は災害現場正面に設置して実施。

① 現場：閉鎖空間での救助活動現場 (要救助者 2 名)



② 現場：土砂災害における救助活動現場 (要救助者 1 名)



③現場：重機を活用した救助活動現場 要救助者 2 名

